



蓬萊町だより

第三十七号
平成六年一月二十日
発行 蓬萊町会
編者 文化者

平成六年の

新春を迎えて

町会長 小林 音吉

明けましておめでとございます。旧年中は町会事業に多大なるご理解とご協力を賜り誠に有難く厚く御礼を申し上げます。昨年は台風が重なり冷夏に依り米、野菜等他に被害が出ました。政治も不安定、バブルの崩壊、景気不安定等、悪い後に良い事があると思います。

新春を迎え町会員の皆様と共にお互のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。挨拶と致します。

町会活動の概要

平成5年8月上旬から

平成5年12月末まで

総務部

8/6 向丘地区町会連合会、町会長会議が開催されました。

向丘地区町連の申合せにより、この度の地震で被害の甚大であった奥尻島へ被害義援金として一六、〇〇〇円を当町会より贈りました。

9/末 本郷清掃事業協会から10月より導入が予定される半透明袋の見本として各宅1枚あての供与がありました。
町会では早速各地域役員を通じてお配りした次第です。

10/4 「区長と話し合う集い」が向丘会館に於て開催されました。

10/10 清掃事務所から「半透明袋によるゴミの出し方」について町内皆様への周知依頼があり、清掃局作成のパンフレットを配布いたしました。

10/18 第20回、本駒込駅地下鉄三者協議会がありました。

11/7 向丘地区町連合によるキックベースボール大会が東大農学部グラウンドにおいて行われ、当町会は惜しくも準優勝でした。

11/25 本駒込駅第三丁区のトンネル貫通式が本日举行されました。

12/13 文町連各町会長と区役所との懇談会、区民センターで開催。

12/末 正月用「門松絵びら」各会員宅に配布いたしました。

防火防災部

8/9 本郷防火協会、理事会が本日開催されました。

9/5 本郷消防団の実技訓練が東大構内で公開されました。

10/8 「火災による死者ゼロ一〇〇〇日」達成記念行事が催される。

11/9 本日から15日まで「秋の火災予防運動」旬間でした。

11/14 平成5年度防災コンクールが六中校庭

で開催され、当町会も参加奮闘しましたが、残念ながら優勝は逃しました。

12/18 本日から29日まで延べ12日間、歳末夜警を防犯部、青年部、と共催によって実施、会員皆様のご支援を得て期間中事故も無く終了いたしました。ご協力に厚く感謝申し上げます。

防犯部

12/18 本日から29日まで防火部との共催によって青年部を主体に歳末夜警を実施いたしました。

町会が自主的に行っております行事に対しては会員皆様から励ましのお言葉やご厚志を頂戴致し、少しでも町の安寧の一旦を担ったのかと感じております。

交通部

9/21 本日から月末まで「秋の交通安全運動旬間」行われました。

いつもの事ながら運動旬間中には交通部、婦人部、友の会の皆さんが連日運動に参加して下さい、交通事故撲滅の啓蒙に努めて戴き、実りのある運動成果を収めました。

衛生部

8/26 本郷伝染病予防委員会、研修会が開催

されました。

12/8 区役所保健課から「殺菌剤」が届きましたので早速に役員を通じて配布しました。取扱いはご注意ください。

文化部

8/10 「蓬萊だより」第36号発行

婦人部

9/6 敬老の日の記念行事「はぜ天ぶら会」は本年も海蔵寺を会場に御借りして行われました。

婦人部では例年の慣例に従い、手伝いをさせて戴きました。

10/15 「赤い羽根」募金、本日左記の金円を募金会に納金、¥一八二、〇〇〇円

12/10 「歳末助け合い」募金、本日左記の金円を募金会に納金、¥一八三、五〇〇円

募金に対してはいつもながら暖かいご厚情を賜り誠に有難うございます。

12/末 婦人部の事業として毎月一回行っております「廃品回収」の売却金は今まで慈善団体に寄贈してまいりましたが、この度は、一月一七からゴミ収集袋が東京都推奨の半透明袋によって収集場に出して戴く様になります

ので、「廃品回収」に常々ご協力を願っている皆様方に即、利用戴ける半透明袋を売却益還元の意味も込めて、量は少しですが、お配りした次第です、今後も引き続きまして資源の大切さを生かすための廃品回収に一段のご協力をお願いいたします。

青年部

8/1 「ストレッチ体操会」開催

8/6 向丘地区町連、第一回青年婦人部協議会開催、議題は町連全体で行われる地域振興事業についてでした。

8/22 恒例「盆おどり大会」を大観音の境内をお借りして催しましたところ、大勢の方々が参加して下さい、大変に盛り上がった行事を行う事が出来ました。

9/5 「ストレッチ体操会」開催

10/3 「ストレッチ体操会」開催
10/6 向丘地区町連、第2回青年婦人部協議会開催

地域振興対策として本年は地区町連対抗のキックベースボールを行う事になりました。

11/7 東大グラウンドにて向丘地区町連対抗のキックベースボール大会が催され、当町会も2チームを出して頑張りましたが、力及ばず、残念ながら優勝を逃してしまいました。

11/14 「ストレッチ体操会」開催
12/5 「ストレッチ体操会」開催
12/18 29 「歳末夜警」を実施、幸いにして当町内ではこれと言う事故も無く越年する事が出来たことは会員皆様のご協力の賜物と感謝しております。

青年部新入部員大募集

青年部も昭和五十一年に発足して以来はや十八年になりました。

発足以来、日曜早朝の「歩け歩け」、秋祭りの御輿担ぎ、盆踊り、もちつき大会、体操(ストレッチ、ビーチボールパレー、ミニテニス)夏休み工作大会、年末の夜警等の活動を続けて今日に至っています。

発足当初の「青年」も今やすではほとんどは「オジさん」となりはてており、数人の本当の若手部員がいるおかげでなんとか「青年部」の名前を保っているような次第です。

そのようなわけで今回、若い方々に参加していただいて、若さと行動力をアップして、よりよい活動をしてゆきたいと考え、新人募集をすることになりました。いくつかの定例行事を毎年つづけてゆくことは、結構つらいこともありませんが、皆なでワイワイさわわぎながらやっていると、何とかやれてしまうのが青年部のよさで

しょうか。それぞれいろいろな仕事をもつメンバーが、できる範囲で工夫して活動しています。中には年一回だけ顔をみせるメンバーもいます。それぞれの生活を大切にして細く長く活動してゆくことが大切だと考えていますので、どうぞ気楽に参加してみてください。年頭には恒例の新年会があり仲間が顔をあわせます。是非一緒に一杯やりましょう！

××××××××××××××××
蓬萊町界限八その三十一▽

八百屋お七のこと（上の一）

林 順信

◆文芸作品は千変万化の筋立て

江戸は世界一の火災多発都市だったことは前回にご紹介したが、火事ゆえに家を焼かれ、結局は自分がつけ火をしたかどで、火あぶりの刑に処せられ、あたら十六の命も鈴ヶ森の露と消えた八百屋お七のことは、その後人々の共感と同情をかつて、文学に歌舞伎に文楽にと取り上げられて来ているが、文芸の世界は史学をいいると脚色して出来ているので、登場人物の名前からして様々であり、筋立ても千変万化のおもむきを呈している。

今回は一通り事実に基いたお七の一件をまとめてみたいと思っっている。何れその後の各分野の作品の異動については追って表示してみたい。◆谷中七面堂から「お七」と名づく

八百屋お七の実家は本郷追分ということになってから蓬萊町の界限である。江戸研究で著名な三日村篤魚（えんぎよ）の『江戸の珍物』（大正二年刊）の中に、天和二年の江戸図入りで、お七の八百屋の位置が大体示されている。それは東大農学部のある道筋で、西教寺と願行寺の二つのお寺の間に当たる町屋の一角にあったことを示している。

蓬萊町の大観音と駒込学園の間の道筋で、南すれば一畑庵さんの横を通って、聖テモテ教会横を通るこの道は、もう三百年以上前の江戸図にちゃんと出ている。岩槻街道からカギの手で入った、いわば田端の方へ通ずる間道であった。

加賀前田家の足軽だった久兵衛（本によって旧兵衛とも太郎兵衛ともある）は本郷追分の間道に八百屋を店開きした。加賀前田百二万五千石の上屋敷は現在の東大の敷地、水戸徳川家の中屋敷は東大の農学部（旧一高）の土地をそばに控えて、恐らく御用達の八百屋としてかなり繁昌をしていたと考えられる。お七は寛文八年戊申（一六六八年）に生まれた。両親がせひ女の子が欲しいと、谷中の延命院の七面堂へ願

掛けをした末に出来た子だから、七面堂の「七」の字をとって、お七（於七とも）と名づけたと伝えられる。

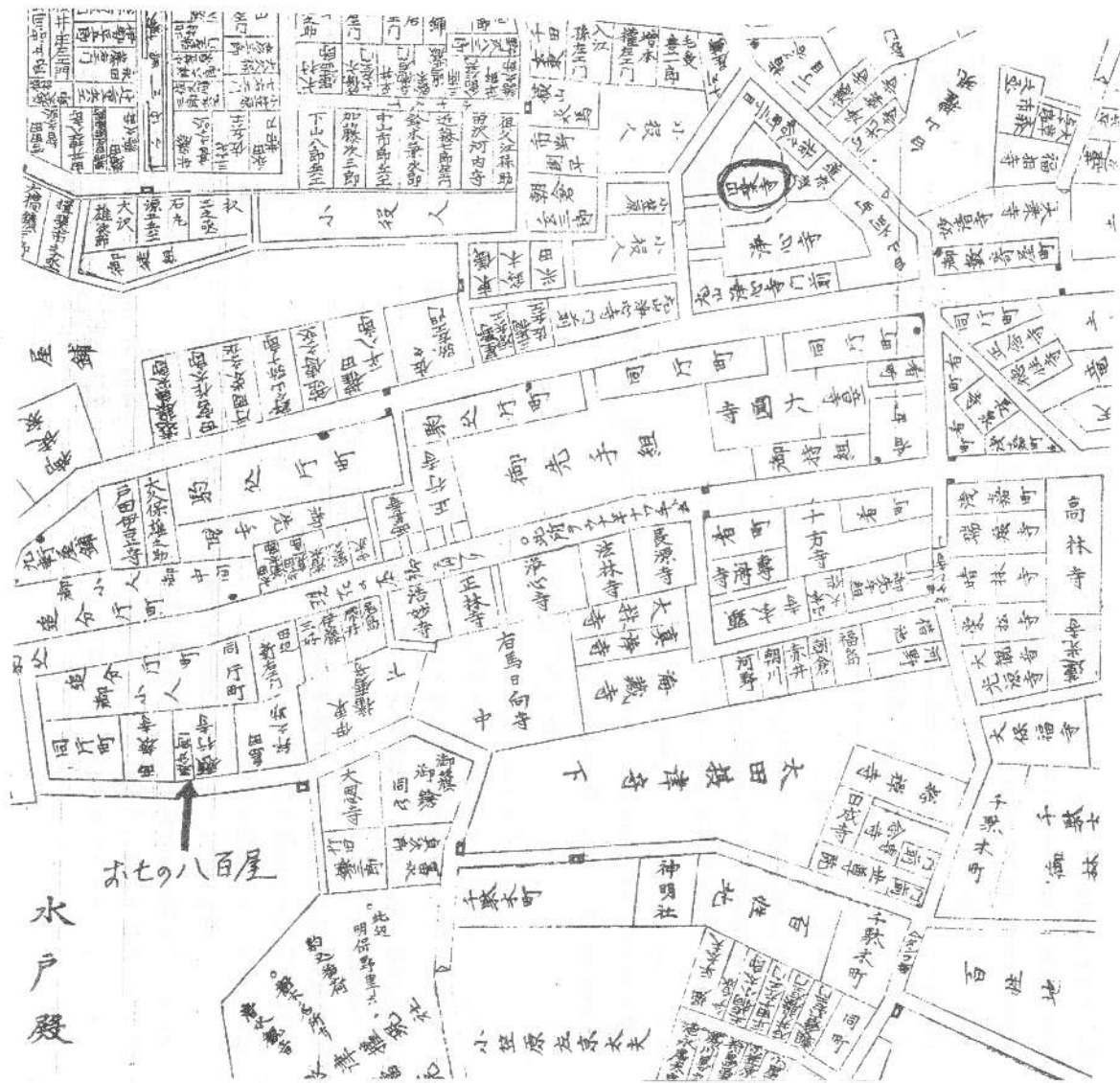
◆お七、恋におちる

江戸の冬は乾いた西の風が吹いて、いたるところで火事が起こった。天和元年（一六八一年）十一月二十八日、その日も江戸名物の空っ風が吹き荒れていた。本郷の丸山（菊坂近く）から出た火は忽ち近辺に燃えひろがって、追分の八百屋久兵衛の家もあつという間に焼け落ちてしまった。お七の家は、父親と母親と共に、小石川の円乗寺の門前に仮小屋を建てて移り住んだ。ある日、寺から出て来る美しい寺小姓の姿に、お七は胸をときめかせて見入った。それからというものの、夜も昼も、その左兵衛という寺小姓のことが忘れられなくなってしまった。左兵衛は十八歳で修業を積む身だったが、いつの日か二人は人目を忍ぶ仲となっていた。

（文芸の方では、お七の相手の男を吉三郎といい、八百屋が仮小屋を建てたのは、駒込吉祥寺の門前だとして、現在は吉祥寺の参道左手に、お七と吉三の比翼塚まで建っている）

半年もすぎた天和二年の夏に追分の元の場所に八百屋も新築されて、お七一家は追分に戻って行った。

以下次号へ 続く



蓬萊俳壇

初松風白砂に寄する波がしら

向雪

豊受の神の恵みや祝著

連木

計報

当町会にお住まいの方で、本年8月から12月未までの間に逝去なされた方のお名前は左記のとおりでございます。

謹んで哀悼の意を表し心からご冥福を祈念申し上げます。

記 柴木定枝様

編集後記

健やかな新年をお迎えなされ、役員一同心よりご祝意を申し上げます。

昨年は、景気の低迷が声高に叫ばれ通した一年でしたが、今年こそはこの様な貧乏神は一日も早く追い払い、景気の好転と明るい話題に溢れる年になって貰いたいものでございます。

地域の問題にも町会として、会員皆様の期待と信頼に添えるよう心を引締めて精一杯務めて参ります。

本年も厚き御支援と御協力を賜ります様お願い申し上げます。

編集委員

- 小林音吉、川西正造、竹中一馬、高橋一郎
- 猪熊良晃、池田暉